

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅳ（呼吸器系・循環器系）1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	呼吸器内科医師・循環器内科医師 心臓血管外科医師	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>呼吸器と循環器の構造と機能について学び、形態機能学で学んだ呼吸器系、循環器系の知識を臨床実践に結び付けて統合し、特有の疾患の理解について深める。呼吸器・循環器が人体のなかでどのような構造をなし、どのような役割を担うかを想起させる。その構造や機能が障害された状態（疾患）はどのような状態を示すのか整理して理解させたい。到達目標は呼吸器系・循環器系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解することとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1.呼吸器系の疾患とその治療 1)感染症	講義（呼吸器医師）	
2回目	2)間質性肺炎	講義（呼吸器医師）	
3回目	3)気道疾患 ①気管支喘息 ②慢性閉塞性肺疾患	講義（呼吸器医師）	
4回目	4)肺血栓塞栓症	講義（呼吸器医師）	
5回目	5)呼吸不全	講義（呼吸器医師）	
6回目	6)呼吸調節に関する疾患	講義（呼吸器医師）	
7回目	7)肺腫瘍 8)胸膜・縦隔・横隔膜の疾患	講義（呼吸器医師）	
8回目	2.循環器系の疾患とその治療 1)虚血性心疾患	講義（循環器医師）	
9回目	2)心不全	講義（循環器医師）	
10回目	3)血圧異常	講義（循環器医師）	
11回目	4)不整脈	講義（循環器医師）	
12回目	5)弁膜症	講義（心臓血管外科医師）	
13回目	6)心筋疾患	講義（心臓血管外科医師）	
14回目	7)先天性心疾患	講義（心臓血管外科医師）	
15回目	8)動脈系疾患 9)静脈系疾患	講義（心臓血管外科医師）	
評価方法	終了試験 筆記 100%：呼吸器系（50%） 循環器系（50%）		
受講生に対するメッセージ	2領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院 病気がみえる 呼吸器 循環器 メディクメディア		
参考書			